

学びを通じた地域づくりの推進に関する調査研究協力者会議  
青少年による地域活性化を支える公民館の役割



松江市玉湯公民館

## 発表の概要

### ■発表のねらい

玉湯地区の青少年が、地域活動参画を通して地域活性化と自己実現を達成する様子をお伝えし、各地区の地域づくりへの参考にさせていただく。

### ■対象

玉湯地区住民（主に高校生から20代前半の若者）

### ■主な連携先

地域諸団体、学校、家庭

### ■都道府県、市町村教育委員会・首長部局との関わり

社会教育分野やまちづくり等の指導助言および補助金の獲得、広報啓発

2

## 本日の内容

1. はじめに
2. 玉湯地区の青少年育成について
3. たまゆメンバーズクラブの取組
  - ①概要
  - ②取組のきっかけ
  - ③具体的な取組
  - ④取組のポイント
  - ⑤活動の成果
4. まとめ

3

## 1.玉湯地区の概要



○平成17年3月 松江市と合併

○人口・世帯数（平成28年5月末現在）  
人口 6,722人 世帯数 2,714世帯

○中学校①、小学校②、幼稚園②、保育園②

4

## 1. 松江市公民館の概要

- 指定管理制度による**公設自主運営方式**  
各地区運営協議会が松江市から指定管理者として受託  
(地域住民が主体となって、地域の実情に即した特色ある取り組みを展開)
- 松江市内に3館 おおむね小学校区に1館程度
- 職員体制：4名 館長…松江市非常勤特別職  
職員…地区運営協議会雇用**正規職員**  
(主任1名、主事2名)
- 休館日：年末年始、土日祝日  
(職員は休業。利用がある場合は貸館対応)
- 予算：人件費：全額市費  
管理費・事業費：6～7割市費、残りは受益者

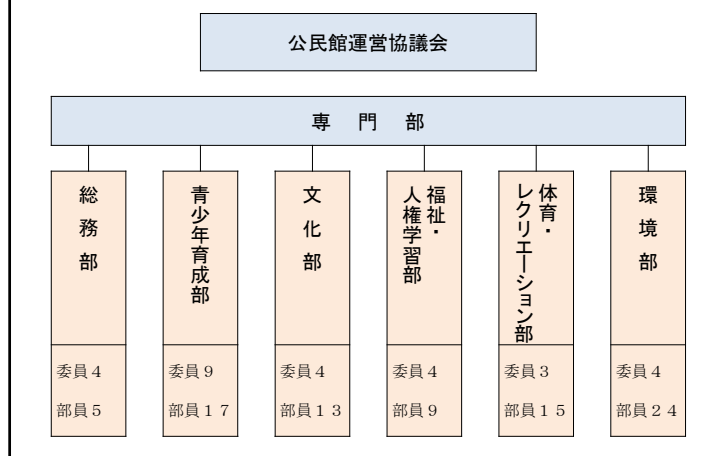
## 1. 玉湯公民館の概要

- OS55. 1月：玉湯町中央公民館竣工
  - H17. 3月：玉湯町が松江市と合併
  - H19.12月：島根県教育長優良公民館表彰受賞
  - H22. 4月：公設自主運営方式へ移行
  - H25. 4月：地区社協事務局の公民館移行
  - H26. 3月：島根県教育長優良少年団体表彰受賞(たまめん)
  - H26. 4月：地域諸団体事務局の公民館移行
  - H27. 2月：島根県いきいき活動奨励賞受賞(たまめん)
  - H27. 6月：複合施設として改修(28.3完了)
  - H28. 3月：文科省優良公民館表彰最優秀館受賞
- 組織：運営協議会委員29名、専門部員54名  
○職員：館長(松江市非常勤特別職)、常勤職員3名  
○平成26年度年間利用者数：のべ39,200人



6

## 1. 玉湯公民館の組織



## 2. 玉湯地区の青少年育成について



8

## 2.玉湯地区の青少年育成について

地域の子は地域で育てるとい  
共通認識を持った取り組み

- 学校や諸団体と連携して地域の個性を活かしたふるさと教育・キャリア教育を展開  
→ふるさと愛と自立心を育てる
- なによりスタッフ、参加者が楽しみを感じられる活動を展開すること

9

## 2.玉湯地区の青少年育成について

＜玉湯町子ども会連合会＞

- 家族ふれあい・ふるさとのづくり教室
 



玉湯の人材と資源を活用した体験活動  
豊かな人間性、郷土愛と参加者・家族の親睦を育む。

  - そば打ち体験 ・陶芸体験
  - パンづくり教室・ウォーキング大会 など
- ジュニアリーダー育成研修・江津少年自然の家宿泊研修
 





リーダーシップ  
や自主性を育て、  
友達との親睦を  
深める。
- そのほか、単位子ども会活動支援

10

## 2.玉湯地区の青少年育成について


＜玉湯地区青少年育成協議会＞

- テレビを消して家庭の日
  - のぼり旗の設置、告知放送での啓発
  - 講演会の実施
- 広報啓発活動
  - あいさつ運動、社会を明るくする運動など
- 社会教育諸団体連絡会
  - 青少年関係団体との情報交換会 など



＜湯の郷たまゆ見守り隊＞

- 平成22年発足
- 隊員数65名、青パト登録台数56台
- 小中学生の下校時を中心に定期パトロール
- 野生動物や不審者情報に備えた緊急連絡網の整備



11

## 2.玉湯地区の青少年育成について

発達段階に応じた青少年育成活動を展開

- 小学校
  - 交流を通して集団生活のルールを理解する
  - 体験活動を通して豊かな心を育てる
- 中学校
  - 多世代とのコミュニケーションを通して社会性を育てる
- 高校
  - 社会活動への参画を通して他者に貢献し、自分の将来について考え、主体的な行動を促す

12

### 3.たまゆメンバーズクラブの 取り組みについて



メンバー考案のたまゆめんロゴマーク。玉湯の特長の温泉をモチーフに、3羽の雛鳥は成長して巣から飛び立つ様子と活動理念の「3つの柱」を表している。

13

### ①たまゆメンバーズクラブの概要

#### たまゆメンバーズクラブ（通称:たまゆめん）

玉湯町の青少年が互いに親睦を図りながら、地域の方々とともにまちづくりに関する事業を企画・実行または補助し、**地域活性化**と**自己実現**を目指すボランティアグループ

#### 【構成】

玉湯町の高校生・学生を中心とした青少年  
会員数148名  
（平成28年9月現在）  
現役高校生は33名が在籍



14

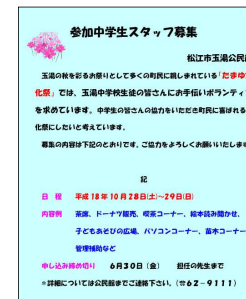
### ①たまゆめんと公民館の関わり

- 位置づけ：公民館青少年育成部
- 事務処理と連絡調整  
（例会やイベントの案内、会計処理など）
- 活動場所の提供  
（ボランティア活動や自主活動の場と機会の提供）
- 学校・地域・家庭等への情報発信、参加協力の呼びかけなど
- **主体性を育むためのサポート**  
（活動を通じた成長や自己実現へのサポート）

15

### ②取り組みのきっかけ：文化祭

- 平成17年まで…賑やかだが若者の姿が少ない
- ↓
- 平成18年 玉湯中に文化祭参画を呼びかけ



公民館の強い呼びかけと学校の配慮で

文化祭2日間のうち、**1日目を「出校日」**  
2日目はボランティアとして希望者が参加。


模擬店への出店や発表、イベントのサポート。

**※現在は幼稚園、小、中学校すべて文化祭初日が出校日になっている。**

16

## たまゆ文化祭に参加して

「大変だったが、地域の方々と触れ合うことができ、やりがいがあった。」  
 「充実感があった。」「楽しかった。」  
 「勉強になったこともたくさんあり、地域の方々の温かさを感じた。」  
 「来年も機会があればまたやりたい。」



「中学生の姿が本当に良かった。」  
 「町が生まれ変わり生き返ったようだ。」  
 「玉湯の町はじまって以来の賑わいだ。」  
 「中学生を見る目が変わった。」

**「ふるさと玉湯のために何か役に立ちたい！」** ➡

17

## 平成19年9月 たまめん結成

(平成20～22年 島根県 実証！地域力醸成プログラム モデル公民館指定)

毎月第1日曜に定例会を開催  
 行事の計画や振り返り、学校生活の話など自由な雰囲気で行っている。





18

## たまめん入会の流れ

玉湯中3年生の卒業前に中学校へ訪問し、勧誘活動を行う。  
 3月に歓迎会を実施。平成28年は12名の新しいメンバーが加入。



**新生歓迎パーティー**




19

## たまめんの活動理念『3つの柱』

自分たちが楽しみながら、地域貢献、自己実現の機会にする

たまめんの「3つの柱」

- 仲間づくりを率先して
- 地域に必要とされるたまめん
- 地域に貢献して元気を与えよう

(活動理念)

活動の前後に、  
**「3つの柱」の共有と振り返りを行います。**

20

## 活動への呼びかけや連絡調整

■連絡手段  
主にグループメール、ハガキ、LINEを活用  
(いろいろなツールや手段を使って、お知らせが必ず目に届くようにする)

■対象  
県外に就職・進学した人へも案内を送ることで近況を知らせたり、帰省時の参加を促す

**4月定例会のお知らせ**

うらかな新しい季節がうれし心ときめく毎日をお過ごしと幸いです。たまめんも新しいメンバー12人を迎え、元気に活動していきたいと思っておりますので、是非お気軽に「会わせてください」の声を届けてください。

★【4月定例会】  
日 時：4月3日(日) 18時～19時  
場 所：玉瀬公民館  
※新年度の計画、4・5月の行事予定について

★【玉瀬川土手のゴミ拾い】  
日 時：4月3日(日) 16時半～18時  
場 所：公民館集合で、土手に移動します。

連絡先：玉瀬公民館  
E-mail: [tamayukou@mable.ne.jp](mailto:tamayukou@mable.ne.jp)  
☎ 62-9111 FAX 55-5793

たまめんタオルを作りました！例会やイベントで渡すので使ってください♪



## ③主催事業『星空観察会』



ふるさととの自然に親しみ、家族や友人との親睦を深めることを目的に開催



## ③主催事業『たまめん合宿』

公民館に1泊2日で合宿、メンバー親睦、地域理解、青少年リーダーのスキルアップを図る



## ③主催事業『夏休み勉強会』

夏休み期間中 毎週水・金曜午後  
高校生たちが自学自習しながら小中学生の勉強をサポート  
勉強会の後はかき氷を食べ、レクリエーションをして交流  
大谷小では年1回出張勉強会を開催



### ③たまゆ文化祭（事前準備）



文化祭前に中学校へ訪問



模擬店試作会



文化祭前に公民館職員が中学校を訪問し、ボランティア活動の意義を3年生に説明  
 たまめんは中学生をサポートし、模擬店を切り盛りする大きな戦力  
 大人スタッフが食品の取り扱いや礼儀作法、コミュニケーションを指導

25

### ③たまゆ文化祭（模擬店運営・出演）





- 模擬店運営：揃いのエプロンで中学生の指導や模擬店の切り盛りで活躍
- T-POPとTDG：趣味特技を活かして地域を盛り上げようとバンドとダンスユニットを結成。子どもや保護者を中心に人気を集めている。





26

### ③サポート活動

■ 公民館や子ども会活動への協力



しると高原ウォーキング大会

児童は年齢の近いお兄さんお姉さんがサポートすることでより楽しく活動できる。  
 たまめんも活動を通して人間的に成長できるように大人スタッフが支援。

■ その他 地区内外の団体への活動協力



花吹雪温泉まつり



義援金募金活動

地区内外のイベントに参加することで、活動の活性化や内容の充実に貢献する。

27

### ③他地区との交流



島根海桜会、八雲ジュニアサポーターズクラブ、央道ジュニアリーダーズクラブとの意見交換会



吉賀町蔵木地区&益田市豊川地区交流研修



お芋博覧会(大田市)

市内外の青少年グループと合同でイベント参加や意見交換、新たなグループ立ち上げの補助などを行っている。

28

### ④取組のポイント

- たまめんにとって（活動の意義）  
交流の場  
 進学先の違う友達や、先輩後輩、小中学生や地域の人と一緒に活動できる場
- 社会経験の獲得  
 主体性：自分たちが企画したことを実現できる  
 意欲的、やりがい、達成感、責任感、成長
- 地域への愛着  
 地域を自分たちで盛り上げる意欲、達成感

「3つの柱」の実践

29

### ④取組のポイント

- 学校・地域・家庭の全面的な協力体制①  
「それぞれの立場で、どんないいことがあるでしょう？」  
 小中学生：たまめんがお兄さんお姉さん役として関わることで安心して楽しく活動できる  
 学校：地域に知ってもらう機会、生徒が玉湯の良さを認識  
 地域：青少年とのふれあい、地域の活性化、文化の継承、認知度向上、人材育成・活躍の場  
 家庭：自分の子どもたちが生き生きと活動する場、成長の機会

それぞれの立場で活動の意義を十分に理解し、地域全体で子どもの成長を支える

30

### ④小・中学校、地域への働きかけ

小学校PTA総会での活動説明



自治会総会での説明



湖南ブロック中学校地域リーダー研修会



そのほか、小中学校校長会、自治会総会など様々な機会を通して地域活動や青少年育成の意義を説明


31

### ④地域の支援体制

## たまめんサポーターズの結成

玉湯青少年育成協議会、子ども会連合会を中心に たまめんサポーターズ を結成（平成21年）

地域でたまめんの活動を支援  
事業実施時のサポートや、指導役を務める





## ④取組のポイント

- 学校・地域・家庭の全面的な協力体制②

### ■キーパーソンを見つける

学校・家庭・地域で中心になる人を見つける  
 たまめん：核となるメンバーを育成

### ■広報活動を定期的・継続的に行うこと

地区内外へ情報発信することで  
 活動に関心を持ってもらう

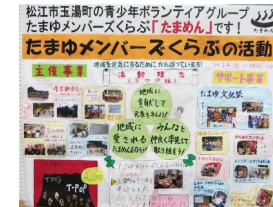
(マスメディア、NEWS、  
 ポスター掲示、公民館だよりなど)



33

## ④取組のポイント（広報活動）

たまめんNEWSの発行、公民館だよりへの掲載、  
 掲示ポスターの作成など



34

## ④取組のポイント

- 持続可能な活動

### ■活動の意義を十分に理解してもらうこと

### ■財源の確保

地域の活動で模擬店を出店し、自己資金を得る  
 補助金に左右されない安定した活動を実施  
 収益の一部は中学校の教育活動や義援金として寄付

### ■活動は強制ではない

参加は強制しない、学校生活やその他の社会活動でいろ  
 いろな経験を得ることも重要

メンバーの意見を尊重して企画内容や時間帯を設定し、  
 参加しやすい、魅力的な活動を展開する

35

## ④楽しさについて…

### たまめんを感じる、「楽しさ」

- 活動自体の楽しさ
- 地域、年齢…学校以外の交友関係が広がる  
 人との出会いやコミュニケーション
- 進学先が違う友達と一緒に活動ができる
- 低学年の子どもたちに慕われる
- 人に感謝される、人の笑顔が見られる、  
 人のためになる
- 応援してもらえる、評価してもらえる
- 自分の視野の広がりを実感できる
- 社会性の習得を実感できる など…

36

## ⑤活動の成果

### ■たまめん結成前後のイベント等 事業参加者の推移

	平成18年 (たまめん結成前)	平成26年
玉湯青少年育成協議会役員数	37 人	62 人
家族ふれあい教室(参加者)	98 人	588 人
文化祭入場者数	2,100 人	4,000 人
文化祭ボランティア数	98 人	380 人



イベント以外にも、今では夕方になると高校生たちがやってきて勉強やバンドの練習、雑談をしたり公民館が日常的に青少年が集い、交流し、癒しを感じられる憩いの場となっている。

37

## ⑤支援者・参加児童保護者の声



大人も彼らから元気もらい、ボランティアの大切さを学んでいます。将来は玉湯のために活躍してほしい。(たまめんサポーターズ代表)



生徒が地域活動に参加し、成長する姿を見せるので積極的に参加するよう呼びかけています。(中学校)



イベントに参加すると中学生や高校生のお兄さんやお姉さんと遊べて楽しい♪大きくなったらたまめんに入ってがんばりたい!(参加児童)



地域の方が一緒になって子どもを育ててくれる素敵な地域。玉湯に家を建てました!(保護者)

38

## ⑤メンバーの声

協力すること、自発的に動くことの大切さを知ることができました!



コミュニケーション力の大切さと人と関わることの楽しさを学びました。

ひとりの力は小さくても、みんなで助け合っていくことで大きな達成感を味わえる!



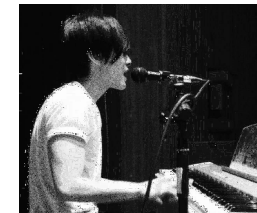
39

## ⑤たまめんで見つけた夢



■トミー：たまめん前会長  
島根県職員3年目  
同世代の仲間たちが帰ってくる場所を守りたい!

■せーや  
バンド「T-POP」立ち上げメンバー  
ミュージシャン志望、玉湯で凱旋ライブをする!



40

## ⑤たまめんで見つけた夢

■フミヒト：たまめん会長  
模擬店運営総括責任者  
食品製造販売企業に就職  
食の力で玉湯を元気にしたい！





■ヨシマサ：  
たまめんロゴの考案、たまめんNEWS  
デザイン担当  
玉造の温泉街・地域活性化に取り組む  
会社に入社  
玉湯のまちづくりをデザインする！

41

## 4.今後のたまめん

今後のたまめん

中学生  
高校生

協力

学生  
社会人

NEXT GENERATION

メインになってたまめんを組織し、活動する

中高生をサポートし、さらに企画やイベントを盛り上げます!!

2つの世代で支え合いながら地域を元気にします!!


- 中高生が主体になって、地域活動のサポートや事業を行う。
- 学生や社会人になったメンバーは、年長者の経験を活かし、中高生の活動のサポートや新しいイベントの企画を行う。

42

## 4.今後のたまめん

■記念タオル作成

- 結成10年と文科省最優秀館受賞を記念して作成
- イベントや日常生活で使用し帰属意識を高める
- ふるさとを思い出すきっかけ、外部へのPR
- 支援者に配ってファン獲得



43

## 4.今後のたまめん

文科省優良公民館表彰 最優秀公民館

### 受賞報告会



5月21日（土）実施

- 受賞報告
- メンバーのトークリレー
- 記念ムービー上映
- 記念製作  
(壁掛けアート)作成
- スペシャルライブ
- 熊本地震義援金募金活動



44



#### 4.まとめ（当地区の取組を通して）

- **楽しさと意義を感じる活動**  
当事者の意見を組み入れ、主体的に関われる
- **地域の協力体制（地域・学校・企業・人材）**  
それぞれの立場で、意義を見いだせる活動
- **多世代が関われる活動**  
価値観の違いを共有、新たな関係構築、地域の伝統文化継承、人材育成
- **持続可能な活動**  
財源、支援者の確保、参加しやすい魅力的な活動と時間設定、まちの将来を見据えた取り組み

### 4.まとめ（当地区の取組を通して）

- 地域資源の活用**  
 地域にある施設・人材・文化を有効活用すること、他地区との連携を図りながら
- 広報の充実**  
 戦略的なPR、協力者の確保、地域ブランドの創出
- 行政との連携**  
 地域の実情を反映した教育行政  
 学校現場への指導力の発揮  
 社会教育主事との連携強化  
 広報啓発、財源の確保

49

### 4.社会教育制度・政策等の課題

- 若者が地域と関わる機会を**  
 中学校卒業後も継続して地域と関われる機会を保護者世代へのアプローチ
- 若者の主体性を育む機会**  
 幼少期から体験活動や議論を通し、主体的に考え行動する習慣をつける  
 役割を任せる、頼ることで承認欲求を満たす
- 公民館が居場所づくりを**  
 若者が定期的・不定期に立ち寄って情報交換や交流ができる場を  
 活躍の場を設定する

50

### 4.社会教育制度・政策等の課題

- 公民館職員の青少年指導者としての育成**  
 若者支援を行う上での資質向上を目的とした資格取得や研修制度の充実
- 青少年と関わり合うことのできる人材**  
 主体性を育むだけでなく、ともに活動し、達成する関わりの持てる人材の育成
- 学校・地域の連携**  
 地域と学校が定期的な対話の場を設ける  
 学校の教育資源やノウハウを地域に還元する  
 地域住民に青少年活動の意義を理解してもらう機会を定期的に設ける

51

